岐阜大学国際交流ニューズレター

Newsletter for International Exchange, Gifu University

No.40

2015年3月

新たな学術交流協定

パリ第11大学（フランス）と締結

パリ第11大学（医学部）

本学は、2014年12月16日、パリ第11大学と大学間学術交流協定を締結しました。これにより、本学の大学間学術交流協定は、合計16か国45大学となりました。

【学生数】約27,600人

【特色】13あるパリ大学の一つであり、270haの敷地を有するフランスで最も大きな大学です。パリの南に位置する3県に5つのキャンパスがあり、本部はパリ郊外のオルセーにあります。理学部、法・経済経営学部、薬学部、医学部、スポーツ科学部を有し、132か国、4,691人の留学生が在籍しています。研究のレベルの高さで知られ、これまでに2名のノーベル賞、4名のフィールズ賞受賞者を輩出しています。

【本学との交流状況】本学の医学系研究科・医学部において、2011年より研究者及び学生交流を開始しました。今後は、学生によるインターンシップも実施予定です。

工学部及び応用生物科学部が、インド工科大学グワハティ校（インド）など10大学と締結

インド工科大学グワハティ校

本学の工学部及び応用生物科学部は、以下の大学と部局間学術交流協定を締結しました。これにより、本学の部局間学術交流協定は、合計16か国31大学・機関となりました。（2015年3月10日現在）

【工学部】9大学

インド工科大学グワハティ校（インド）
マンダレー大学　自然科学部（ミャンマー）
ヤダナボン大学　自然科学部（ミャンマー）
ディアンキマティ工科大学　工学部（ケニア）
トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学　理工学部（マレーシア）
ドルトムント工科大学 機械工学部（ドイツ）
ブラヴィジャヤ大学　数学自然科学部（インドネシア）
メティラ大学　自然科学部（ミャンマー）
慶北大学 工学部（韓国）

【応用生物科学部】1大学

ハメ応用科学大学　バイオエコノミーユニット（フィンランド）

海外オフィスより

現在、3か国3都市に本学の海外オフィスが設置されています。

【上海】中国国内（上海、長春等）で開催された日本留学フェアに出展し、岐阜大学への留学をPRしました。2015年3月には、森脇学長ら一行がオフィスの視察に訪れました。

【ダッカ】2014年6月、鈴木理事らがダッカ大学内のオフィスを訪問し、開所式が行われました。

【インドネシア】2014年12月、スブラス・マレット大学内に岐阜大学オフィスを開所し、森脇学長らによる開所式が行われました。

上海オフィス

ダッカオフィス

インドネシアオフィス

学長の海外協定大学訪問・海外協定大学等の学長表敬

2014年度、森脇学長の海外出張は3件、海外からの表敬訪問は10件あり、協定大学等との積極的な交流が行われました。（2015年3月10日現在）

【森脇学長による海外出張】

2014年9月21、22日 インド工科大学グワハティ校（インド）　共同研究・教育プログラムについての意見交換のため。
2014年12月2日　スブラス・マレット大学（インドネシア）
岐阜大学オフィス設置に関する覚書の調印及び同オフィスの運営及び本学との共同教育事業に係る意見交換のため。
2015年3月9日　広西大学（中国）　連合農学DPDPの締結及び岐阜大学オフィス設置に関する打ち合わせのため。

【海外からの表敬訪問】

2014年4月24日　駐日ハンガリー大使館　セルダヘイ・イシュトヴァーン特命全権大使
2014年6月19日　NATO加盟国国会議員会議（NATO PA）「エネルギー・環境安全保障小委員会（STCEES）」及び「汎大西洋経済関係小委員会（ESCTER）」視察団　計31名
2014年7月2日　チュラロンコン大学理学部（タイ）トサック・シーラナン プログラム統括責任者　他5名
2014年8月5日　南部アジア農学系博士課程教育連携コンソーシアム協定校等代表者（バングラデシュ、インド他7か国）　計12名
2014年8月25日　マンダレー大学（ミャンマー）マウン・ティン学長　他1名
2014年9月3日　駐日バングラデシュ大使館　ジバン・ランジャン・マジュムダ経済公使
2014年9月25日　ソウル科学技術大学（韓国）キム・テチョル学生支援課長　他4名
2015年1月20日　アンダラス大学（インドネシア）ヘルミ副学長（企画・開発・連携担当）　他2名
2015年2月17日　カンピーナス大学（ブラジル）カルロス・スズキ国際交流センター顧問・副センター長　他4名
2015年2月25日　インド工科大学グワハティ校（インド）P.S.ロビ 機械工学科教授　他1名

カンピーナス大学（ブラジル）の来訪

秋の国際週間2014を実施

海外で活躍する留学生OBによる講演会

11月4日、中国及びアメリカで活躍している留学生OBによる講演会が開催されました。中国からは、本学工学研究科を修了し、上海華瀛ソフトウェア有限会社取締役社長であり岐阜大学中国同窓会事務局長も務める于平(ユーピン)氏が、アメリカからは、連合農学研究科を修了し、テキサスA&Mヘルスサイエンスセンターで助教授を務めるモハマド・ナシール・ウディン氏(バングラデシュ出身)が講演を行いました。留学生達は、岐阜大学で学んだ先輩である両氏からのアドバイスに熱心に耳を傾けました。

学長主催懇談会

11月5日、森脇学長をはじめ役員・部局長と外国人留学生、外国人研究者及びその家族が一堂に会し、親睦を図ることを目的として、学長主催の懇談会が開催されました。懇親会には約130名が参加し、留学生達は日頃接する機会の少ない学長や役員と、様々な話題に花を咲かせ、記念撮影をするなど交流を深めました。

地元企業との交流会

11月12日、留学生が地元企業を知る機会を提供するため、岐阜信用金庫の主催により、地元企業との交流会が開かれました。本交流会には、岐阜周辺地域の企業15社から社長、役員、人事担当者等が参加し、事業内容や製品、海外進出の状況についてのプレゼンテーションを行いました。本学からは、外国人留学生及び日本人学生約70名が参加し、プレゼンテーションの後に行われた懇親会では関心のある企業の担当者より直接説明を受けました。

スペシャル・ラウンジ

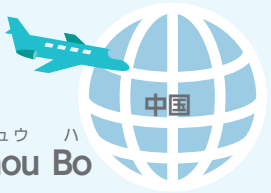
11月6日、本学で毎月実施しているイングリッシュ・ラウンジの特別版として、日本語、中国語、フランス語及び韓国語の4言語による「スペシャル・ラウンジ」を行いました。約40名の参加者それぞれが興味のある言語のグループに分かれ、ネイティブ・スピーカーである留学生や本学職員からそれぞれの言語の基礎を学んだり、日本人学生と留学生が日本語での会話を楽しんだりしました。終了後のアンケートでは、参加者全員が「次回も参加したい」と回答し、今回実施した4言語以外も学びたいという意見も寄せられました。

2014年度　イングリッシュ・ラウンジ(全11回)を開催

イングリッシュ・ラウンジ(English Lounge) は、本学の学生・教職員が自由に英会話を楽しむ場として、毎月2回昼休みに行われています(長期休業期間を除く)。参加者は4～5名のグループに分かれ、毎回用意されるトピックについて、英語で意見交換を行います。今年度はインキュベーションホールや図書館ラーニングコモンズを会場として全11回開催し、学生を中心に延べ233名の参加がありました。参加者からは、「普段英語を話す機会がないのでとても良い刺激になった」「色々な国、職業の人と知り合うことができた」との声が寄せられました。2015年度も多くの方の参加をお待ちしています。

外国人留学生からのメッセージ

「留学体験」



工学研究科博士後期課程　生産開発システム工学専攻　3年　Zhou Bo（シュウ　ハ）

私は2009年9月25日に日本へ来ました。今でもセントレアに到着した時の様子をはっきり覚えています。秋の格好で入国手続きの申請に並んでいる間、汗がいっぱい出て、日本はまだまだ暑いと感じました。多くの留学生と同じように、母国で大学を卒業し、外の世界への興味と知識を学びたいことを目的として留学生活を始めました。

岐阜大学は留学生に向けて無料の日本語クラスが設置してあり、日本に来たばかりの時、日本語を全然話せない私は、1年間、日本語集中クラスで勉強しました。週11コマの授業があって、日々の留学生活が忙しくなったけれど、日本語を勉強しながら新しい友達もたくさん出来、楽しく留学生活を過ごしました。また、その時で取得した日本語能力は自分の専門知識への勉強や普段の生活に非常に役立ちました。周りには私のように、一所懸命に日本語を勉強し、卒業後、日本で就職する留学生はたくさんいます。また、卒業するまで、あまり日本語を話せなく、そのままに母国に帰って就職する留学生もいます。人はそれぞれにはっきり目標と目的を持って、行動すればいいと思います。

私は超高強度繊維補強コンクリートの研究に取り組んできました。5年半の研究生活から、研究室は学生にとって非常に大事な存在として感じられました。留学生として、研究室の学生と仲良くするのがとても大事で、最初は、言葉、文化の違いでなかなか難しいかもしれませんが、自ら心を開き、誠実に交流すれば、仲良くなると思います。

最後に、岐阜の町についての感想です。東京、大阪などのにぎやかな大都市と比べ、岐阜はただ静かに綺麗な街だけど、豊富な自然環境に囲まれ、優雅な古典的日本文化を感じられます。また、大都市の高物価に比べ、岐阜は物価が安くて自由自在な生活も出来ます。

5年半の留学生活、たくさんの親切な方と出会い、そして彼らから応援を頂きながら、いろんなことを学びました。ここで深く感謝申し上げます。

海外留学中の学生からのメッセージ

「交換留学体験記」

教育学部 国語教育講座 4年　木内麻奈未

この交換留学体験記を通して、2014年8月から始まったわたしのスウェーデンルンド大学での留学生活を振り返りながら、次に留学する人へのメッセージを書きたいと思います。まず留学するにあたって毎日毎日何かの目標、目的を持って生活するということは留学しているみんなに共通して大切にしていることだと思います。今日はレポートをどこまで終わらせる、今日は課題図書を10ページ読むなど勉学に関することはもちろん、冬休みだからと言って家にひきこもらずに1日少なくとも1人以上の友達と会うなど、生活にいたるところまで様々な目標を各自で持って毎日を送っています。このように一日をしっかり振り返って次の目標を明らかにすることは、時間の限られた留学生活において非常に大切です。

自分が留学できている幸福、すばらしい勉強の環境に置かれている幸福を考えれば、一日、たったの一時間でさえもとても価値のある貴重なものに感じられるはずです。またそのような機会をくれた家族、先生、そして日本で応援してくれている友達に常に感謝の気持ちを再確認できるでしょう。

また一日一日の目標を持つこととセットにして考えて欲しいことに、日本に帰ったらどうする、この留学で得た経験を何に役立てようと、帰国してからのことも視野に入れるよう心がけてほしいです。わたしはよく目の前のことに夢中になりすぎる性格なので、前期の留学はただただ楽しむこと、友達とたくさんの時間を共にすること、英語の語学力向上に夢中になって、帰国した後のことはあまり考えていませんでした。しかし留学があと残り半年を切った今、スウェーデンでの経験を日本でも有効に活用するため、今わたしはどうするべきなのかを考えています。そのために何か新しいことを自分から挑戦しようと、今自分にできることを模索しています。このように留学は、自分の振り返りや目標を見つけることを通して、今まで自分の知らなかった新しい自分を見つける、また自分を見つめ直すいい機会だと思います。

最後に、ルンド大学では留学生のためのチューターやイベントなど、新しい友達と会うための機会が非常に多く用意されています。もし外国人の友達が欲しいのならそのようなイベントに積極的に参加することが大切です。また大学の寮には世界各国からの留学生がいっしょに生活を共にしています。そのような寮や授業は異文化交流のいい契機になります。しかし、アジア人は欧米の人たちにとって「あまり英語が話せない」というイメージがあり、彼らの方から積極的に話しかけてくれる人は少ないです。そのため自分から話しかけに行く、何か仲良くできるきっかけ作りをするなど、積極的な姿勢が異文化交流の鍵になるなあと、留学してつくづくと感じました。

留学してから7ヶ月近く経った今、スウェーデンのルンド大学に留学して何を得た、何を学んだと一言ではっきり答えることは難しいですが、毎日が充実しておりそれを日本にいたままでは味わえなかったと考えると、留学して良かったと心から思います。今留学しようか迷っている人にも、わたしの報告書を読んで少しでもエールを送ることができればいいなあと思います。また大学に帰った際にも、自分の体験談を伝え相談に乗るなど、少しでも留学を夢見る学生のために役に立てたらと考えています。残りの留学期間、悔いのないよう、全力で学び、みんなに誇れるような経験を積んでいきたいです。

国際交流事業協力団体（2012～2014年）

公益財団法人味の素奨学会
イビデン株式会社
一般財団法人井上国際交流基金
株式会社エヌテック
株式会社大垣共立銀行
大野柿クラブ
北方自動車学校
財団法人岐阜県環境管理技術センター
公益財団法人岐阜県国際交流センター
岐阜県国際交流団体協議会
公益財団法人岐阜市国際交流協会
岐阜市青年団OB会
岐阜市商工観光部観光コンベンション課
岐阜市市民参画部国際課
岐阜信用金庫
岐阜ゾンタクラブ
岐阜長良川ユネスコ協会
岐阜西ロータリークラブ
岐阜東ロータリークラブ
岐阜南ライオンズクラブ
郡上八幡国際友好協会
財団法人交流協会
国際交流の輪∞黒野
国際ソロプチミスト岐阜
サンメッセ株式会社
株式会社ジャパンプランツ
株式会社十六銀行
株式会社スギヤマメカレトロ
西濃華陽観光バス株式会社
太平洋工業株式会社
公益財団法人田口福寿会
公益財団法人朝鮮奨学会
長良製紙株式会社
ハートランス株式会社
公益財団法人服部国際奨学財団
公益財団法人平和中島財団
三田洞自動車学校
三菱商事株式会社
NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
NPO 法人国際文化友好協会
一宮市国際交流協会
JAPAN TENT 開催委員会
富加の青少年を育てる会
廿日市市国際交流協会
大野きょうだい会
せぴあ会
グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会
名古屋ホームステイボランティアセンター
独立行政法人国立青少年教育振興機構
岐阜県商工労働部観光課
奈良県教育振興課
第一ブロック青少年育成市民会議
ぎふ善意通訳ガイドネットワーク
岐阜モンゴル文化協会
岐阜県日本中国友好協会
女性医師就労支援の会
公益財団法人オイスカ岐阜県支部
岐阜フラッグアート展実行委員会
羽島市国際交流協会
河合石灰工業株式会社
岐阜車体工業株式会社
株式会社メイホーエンジニアリング
丹羽鋳造株式会社
岐阜産研工業株式会社

本学の国際交流事業は、以上の企業・団体からの御寄付及び御協力により運営されております。（順不同・敬称略）

岐阜大学基金（国際交流事業）へのご協力のお願い

岐阜大学における国際交流を充実・発展させるために、岐阜大学基金（国際交流事業）への御寄附をお願いいたします。寄附申込書を以下のURLから入手のうえ、御寄附いただきますと、本学の国際交流事業への寄附金として取り扱われます。主な国際交流事業として、私費外国人留学生学資援助金、研究者交流助成、短期留学（派遣）奨学金及び多文化交流事業等を行っております。

国際交流事業のための岐阜大学基金
URL：**http://www.gifu-u.ac.jp/international/fund/message.html**

※本学への寄附金は、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金または法人税法上全額損金算入を認める指定寄附金として財務大臣から取り扱われます。

国際交流ニューズレターについてのご意見・ご感想をお寄せ下さい

送付先：岐阜大学学術国際部国際企画課 国際企画係　〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
Email：**kokusaik@gifu-u.ac.jp**

編集：岐阜大学国際戦略本部
事務局　学術国際部国際企画課（本学の国際交流全般に関すること）
■ TEL：**058-293-3350**　■ Email：**int_exch@gifu-u.ac.jp**
学術国際部国際企画課 留学生支援室（留学生に関すること）
■ TEL：**058-293-2139/2137**　■ Email：**direcent@gifu-u.ac.jp**

本誌は岐阜大学公式Webページ上で公開しています。
岐阜大学国際交流ニューズレター
URL：**http://www.gifu-u.ac.jp/international/newsletter/Newsletter.html**